

熊野古道周辺観光施設の駐車場の充電設備インフラの整備について

【内容】

震災後、省エネ等が叫ばれており、神戸や大阪では電気自動車などが高齢者に比較的良く売れています。

和歌山、特に熊野古道周辺の充電設備インフラについて聞かれることがありますが、田辺市のホームページをインターネットで調べても載っていません。世界遺産 熊野古道をホームページでうたうのであれば、各ディーラー任せにせず、インフラ整備を大至急行ってください。

世界遺産をもっと売り込むのであれば、イメージが大切です。クリーンな電気自動車が熊野古道を不安なく走れるようにお願いします。

【回答】

熊野古道周辺の充電設備インフラの整備につきましては、昨年度に本宮町内に急速充電器（普通充電には対応していません。）の設置を予定していましたが、設置予定地であった「世界遺産 熊野本宮館」が、平成 23 年 9 月の台風第 12 号により甚大な被害を受けたため、急速充電器の設置を延期したところです。

しかし、現在、「世界遺産 熊野本宮館」の年内の完成を目指した復旧工事を行っており、急速充電器につきましても、駐車場内に整備を行うこととしており、「世界遺産 熊野本宮館」の再開館（1 月 1 日の見込み）とともに供用を開始する予定です。

（※「世界遺産 熊野本宮館」は、回答時には未開館でしたが、平成 25 年 1 月 1 日から再開館し、同時に急速充電器も供用を開始しています。）

（担当：環境課）